

新型「CIVIC e:HEV」を発売 ～進化したスポーツ e:HEV で爽快な走りを提供～

Honda は、新型「CIVIC e:HEV (シビック イーエイチイーブイ) ※1」を2022年7月1日(金)に発売します。開発のコンセプトは「爽快スポーツ e:HEV」。シビックが持つ基本性能のよさはそのままに、進化したスポーツ e:HEV による爽快な走りを新たな提供価値として目指しました。



シビックシリーズは、1972年の発売以来、今年で50周年を迎え、世界で累計約2,700万台を販売しているグローバルモデルです。いつの時代も一歩先のニーズを捉え、常に進化を続けており、人々に驚きを届けるクルマとして多くのお客さまからご支持いただいています。

新型シビック e:HEV は、昨年の発売以来スポーティーな走りなどでご好評をいただいているシビックに、新開発となる2.0L直噴エンジンと進化したハイブリッドユニットを組み合わせたスポーツ e:HEV を搭載したモデルです。ご好評いただいているデザインやパッケージはそのままに、スポーツ e:HEV ならではの爽快な走りと環境性能の両立を実現しました。

■販売計画台数(月間)

300台

※1 e:HEV (イーエイチイーブイ) は、電動化コア技術である高効率・低燃費な2モーターハイブリッドシステムのグローバル統一呼称。“e:”には「electric (電気) を energy (原動力) にして、みんなの笑顔と元気を力強く energize (活気づける) していく」という意味が込められています

■新型シビック e:HEV の主な特長

① スポーティーな走りを実現したダイナミクス

<新開発となる 2.0L 直噴エンジン>

熱効率に優れたアトキンソンサイクルに加え、燃料をシリンダー内に直接噴射する直噴システムを新たに採用。燃料を無駄なく燃焼させることで、従来の e:HEV 用 2.0L エンジンに対し高トルク化とエンジンモードでの走行可能領域の拡大を実現しました。これにより、低回転から高回転まで幅広い領域でエミッション（燃焼ガス中の有害物質）を抑制し、燃費や排出ガスクリーン性能、静粛性を向上させるとともに、ドライバーの操作にリニアに応える爽快な加速を実現しました。

<進化したハイブリッドユニット>

PCU（パワーコントロールユニット）は、軽量化と高出力化を行い、力強い駆動を実現しました。また、IPU（インテリジェントパワーユニット）は、内蔵するリチウムイオンバッテリーに低全高の新しいセルを採用し、バッテリーモジュールの重量あたりエネルギー密度をさらに高め、パッケージ効率を向上させました。また電動車開発で培ったノウハウを生かし、バッテリーの耐用年数を考慮しつつ使用領域を拡大。これによりさまざまな場面でトルクのある加速を実現しました。

<質の高い軽快感を目指した低重心・高剛性ボディ>

重量物である IPU の配置を工夫したことで、車体の低重心化とボディの高剛性化を実現。ダンパーの専用設定やバネ下重量比率の低減により、一体感のあるハンドリングや、挙動にぶれのない安定感のある走りを実現しました。

② 爽快さと上質さを感じさせるパッケージと専用デザイン

リアシート下に IPU を配置することで、シビックならではの高い居住性と荷室容量を実現しました。また、エクステリアデザインは、フロントアッパーグリルとドアガラスまわりのサッシュのグロスブラック化に加えて、ドアミラーもブラックにすることで、上質で爽快な走りを表現しました。

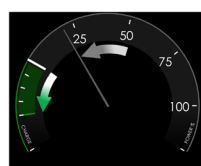
③ 使い勝手を向上させる先進装備

<e:HEV 専用 10.2 インチデジタルグラフィックメーター>

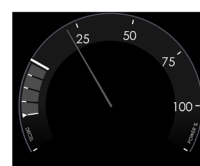
加減速をわかりやすく表現するために、パワーメーターを採用。パワー（加速）については指針で表示し、百分率の目盛りを設けることでタコメーターのようなわかりやすさを実現。また、チャージ（減速）については、バーで表現しました。減速セレクター使用時は、バーの色を変更するとともに減速セレクターのポジションを表示し、選択中の減速度を把握しやすくしました。



パワー（加速）表示



チャージ（減速）表示



減速セレクター表示

<INDIVIDUAL モードを初搭載>

さまざまなシーンに応じて選択できるドライブモードに、パワートレインやステアリング、メーターを個別に設定できる「INDIVIDUAL（インディビジュアル）モード」を国内のHonda車として初めて^{※2}採用。ドライバーの好みにあったセッティングでのドライブモードを提供します。

<Honda SENSING を標準装備>

先進の安全運転支援システム「Honda SENSING（ホンダ センシング）」^{※3}を標準装備。広い範囲と高い精度で対象物を検知するフロントワイドビューカメラや、ガラスや外壁など非金属も高い精度で検知する前後ソナーセンサーを採用しました。

機能一覧 サポカーS<ワイド>に該当

- 1) 衝突軽減ブレーキ<CMBS>
- 2) 誤発進抑制機能^{※4}
- 3) 後方誤発進抑制機能^{※4}
- 4) 近距離衝突軽減ブレーキ^{※4}
- 5) 歩行者事故低減ステアリング
- 6) 路外逸脱抑制機能
- 7) 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール<ACC>
- 8) 車線維持支援システム<LKAS>
- 9) トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）
- 10) 先行車発進お知らせ機能
- 11) 標識認識機能
- 12) オートハイビーム
- 13) アダプティブドライビングビーム

※2 2022年6月現在。

※3 Honda SENSING は、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力（認識能力・制御能力）には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。

詳細はホームページをご参照ください <https://www.honda.co.jp/hondasensing/>

※4 「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせると「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます

■全国メーカー希望小売価格

タイプ	乗車定員	エンジン	トランスミッション	駆動方式	消費税 10%込み
e:HEV	5名	2.0L 直噴アトキンソン サイクルエンジン +2 モーターハイブリッド	電気式 無段変速機	FF	3,940,200円

■ボディカラー

- プラチナホワイト・パール^{★1}
- クリスタルブラック・パール
- ソニックグレー・パール^{★1}
- プレミアムクリスタルレッド・メタリック^{★2}
- プレミアムクリスタルブルー・メタリック^{★2}

★1 38,500円（消費税 10%抜き 35,000円）高となります

★2 60,500円（消費税 10%抜き 55,000円）高となります

お客様からのお問い合わせは、「お客様相談センター0120-112010」へお願い致します。